

2022年11月2日

2023年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2023年3月期 第2四半期累計業績:連結売上収益>

全世界生産台数は、半導体供給不足による生産制約のリスクは依然として残るものの、柔軟に生産計画を調整したことなどにより、前年同期比 24.5%増の 425 千台となりました。

国内生産は同 29.9%増の 283 千台、海外生産は同 15.0%増の 143 千台となりました。

これを受け、全世界販売台数は、重点市場である米国を中心に堅調に推移し、同 6.2%増の 399 千台となりました。

連結売上収益は、為替変動による増収効果および販売台数の増加などにより、同 30.5%増の 1 兆 7,509 億円となりました。

<2023年3月期 第2四半期累計業績:連結損益>

連結損益については、原材料価格の高騰および諸経費等の増加があったものの、為替変動による増益効果および販売台数の増加などにより、営業利益は前年同期比 560 億円増加の 1,104 億円、税引前利益は同 592 億円増加の 1,204 億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同 331 億円増加の 779 億円となりました。

<2023年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、原材料価格の高騰を価格政策および販売ミックス改善などで一定程度打ち返すとともに為替変動による増益効果を織り込み、前回発表値*に対して、売上収益は 3,000 億円増加の 3 兆 8,000 億円、営業利益は 1,000 億円増加の 3,000 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は 700 億円増加の 2,100 億円にそれぞれ修正します。

また上期業績および通期業績見通しの上方修正を踏まえ、中間の 1 株当たりの配当を 10 円増配の 38 円と決定し、期末についても同額の 38 円、年間配当金 76 円への修正を予定しています。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥133/US\$、¥136/EURO です。

*2022年8月3日発表

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。